

# 利根川下流部の自然再生事業

## 自然再生事業に至る経緯

- 昭和 30 年頃まで 干潟や浅場、ヨシ原で構成される自然豊かな環境を形成。
- 昭和 46 年 利根川河口堰の建設により、河口堰上流には湛水域の湿潤なヨシ原環境（オオセッカ等の生息環境）が広範囲に形成され、河口堰下流には汽水性のヨシ原が維持された。（河口堰を境に 2 つの特徴ある湿地環境が形成された）
- 昭和 50 年頃 現在の河川環境の原形となる湿地環境が形成。
- 昭和 50 年頃～平成 25 年頃 社会環境の変化や高水敷化、乾燥化等に伴い、干潟や浅場、水際のエコトーン、ヨシ原やワンド等の湿地環境が減少した。

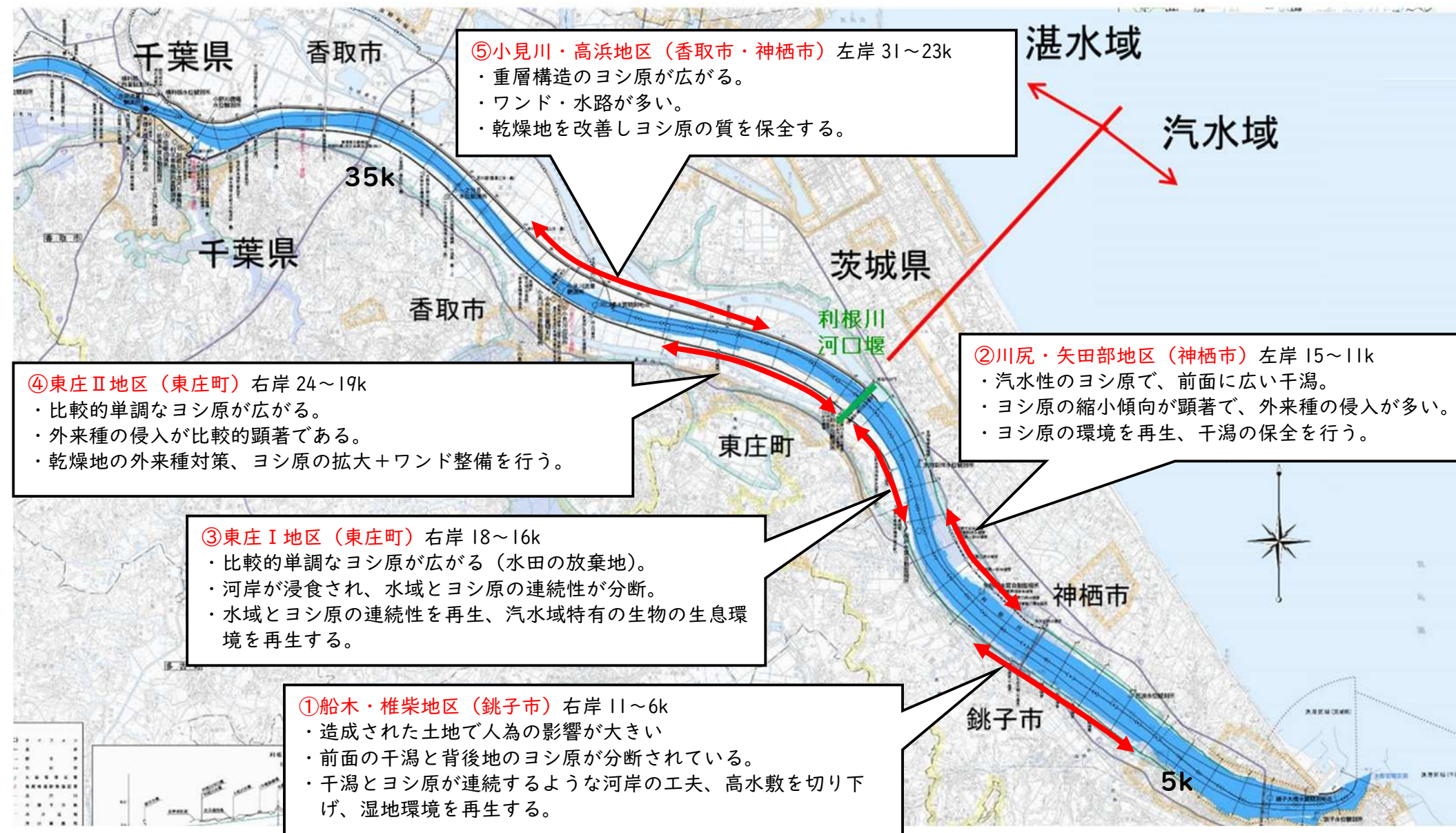


# 利根川下流部の自然再生事業

## 自然再生箇所の選定の考え方

- ・国内有数の湿地環境として重要であり、かつ、依存する貴重種の多い範囲である利根川河口堰を挟む 5 km から 35 km までの区間が対象範囲
- ・セイタカアワダチソウの侵入等、部分的に悪化した河川環境を再生することにより、周りと一体となった環境機能の向上が期待できる箇所
- ・ヨシ原の減少やワンド・水路の減少等、これまでに減少した良好な河川環境を同じ場所もしくは代替地において全面的に再生・創出する箇所
- ・これまでの河川改修（築堤、河道掘削、河口堰建設等）による河道の変化を受容した上で河川環境を評価し、保全・再生箇所を選定

## 選定箇所及び選定理由



## 自然再生箇所抽出の視点

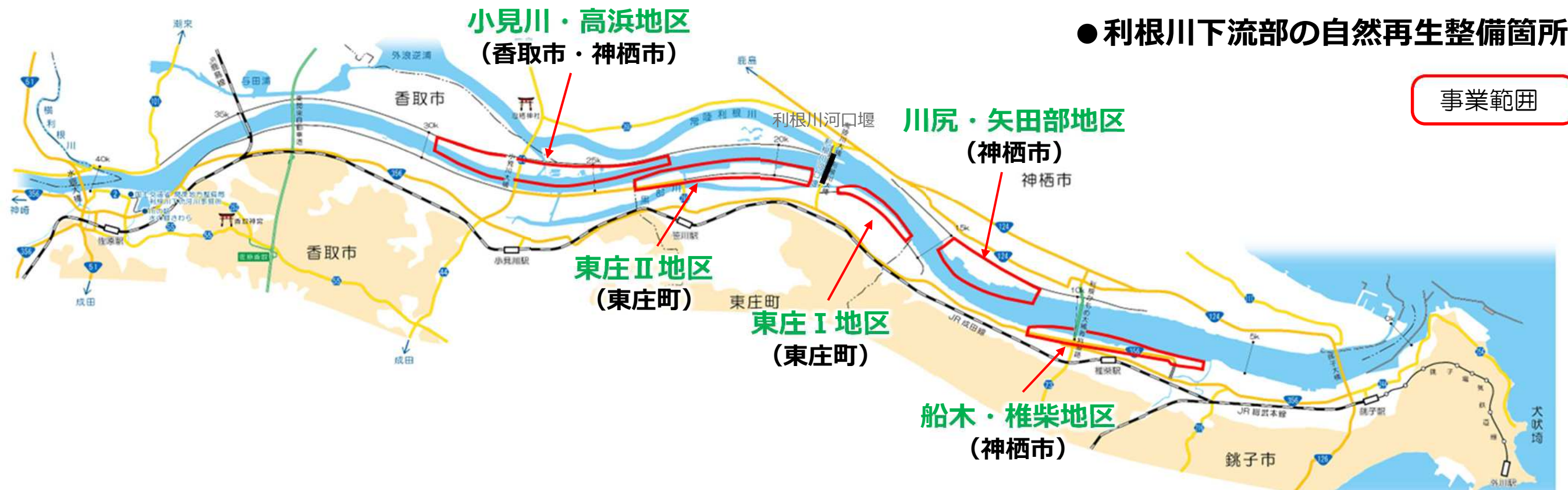
- ・できる限り広い面積の自然地の保全・再生  
(高水敷が広く、ヨシ原再生により連続したヨシ原を確保できる箇所)
- ・貴重な生物の生息場の保全・再生  
(貴重種が生息している・生息していた場所)
- ・良好な河川環境のネットワーク化  
(横断的・縦断的連続性が確保しやすい箇所)

# 利根川下流部の自然再生事業

## 事業の目標

「多様な生物の生息・生育場を育む湿地・水際環境の保全・再生」

○現在の水郷利根川の原形となった昭和 50 年頃の湿地環境をイメージし、平成25年よりヨシ原環境、干潟環境、河岸環境、ワンド・湿地・水路の整備を行い、湿地環境特有の多様な生物の生息、生育、繁殖環境の保全・再生を行っています。



# 各自然再生地区の指標生物

## 小見川・高浜地区

### 指標種

- ・オオセッカ
- ・コジュリン
- ・在来タナゴ類
- ・ニホンウナギ

### 主な確認種 (赤字は目標種)

- ・オオセッカ
- ・コジュリン
- ・未確認 (外来タナゴは確認)
- ・ニホンウナギ
- ・マハゼ (他7種)



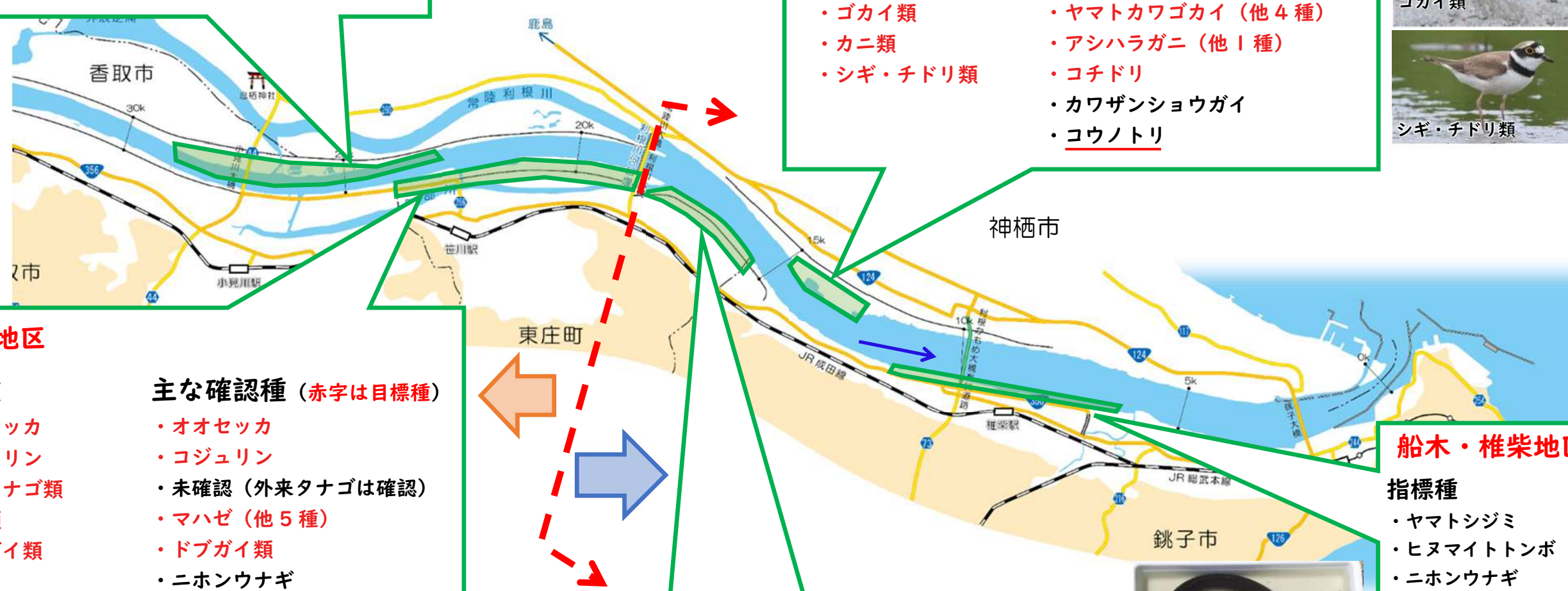
## 川尻・矢田部地区

### 指標種

- ・ヒヌマイトトンボ
- ・キイロホソゴミムシ
- ・シオクグ
- ・オオクグ
- ・エドハゼ
- ・ヤマトシジミ
- ・ゴカイ類
- ・カニ類
- ・シギ・チドリ類

### 主な確認種 (赤字は目標種)

- ・未確認 (保全地で確認)
- ・未確認 (周辺で確認)
- ・シオクグ
- ・オオクグ
- ・未確認
- ・ヤマトシジミ
- ・ヤマトカワゴカイ (他4種)
- ・アシハラガニ (他1種)
- ・コチドリ
- ・カワザンショウガイ
- ・コウノトリ



## 東庄II地区

### 指標種

- ・オオセッカ
- ・コジュリン
- ・在来タナゴ類
- ・ハゼ類
- ・ドブガイ類

### 主な確認種 (赤字は目標種)

- ・オオセッカ
- ・コジュリン
- ・未確認 (外来タナゴは確認)
- ・マハゼ (他5種)
- ・ドブガイ類
- ・ニホンウナギ



## 東庄I地区

### 指標種

- ・ヒヌマイトトンボ
- ・ハゼ類
- ・ニホンウナギ
- ・シオクグ
- ・オオクグ

### 主な確認種 (赤字は目標種)

- ・未確認
- ・エドハゼ (他9種)
- ・ニホンウナギ
- ・シオクグ
- ・オオクグ
- ・テナガエビ



## 船木・椎柴地区 (施工中)

### 指標種

- ・ヤマトシジミ
- ・ヒヌマイトトンボ
- ・ニホンウナギ
- ・エドハゼ
- ・ゴカイ類
- ・カニ類
- ・オオクグ

### 主な確認種

施工中のため  
未調査

# 自然再生事業で再生したヨシ原の面積

河口堰上流 (湛水域)	小見川・高浜地区	
	整備地① (左岸 26.0k)	2.6ha
	整備地② (左岸 28.0k)	3.3ha
	東庄Ⅱ地区	
	整備地① (右岸 19.5k)	4.1ha
河口堰下流 (汽水域)	整備地② (右岸 22.5k)	2.2ha
	東庄Ⅰ地区	
	整備地① (右岸 16.5k)	6.1ha
	整備地② (右岸 17.0k)	4.5ha
	整備地③④ (右岸 17.5k)	8.0ha
	川尻・矢田部地区	
	整備地① (左岸 13.5k)	5.2ha
	整備地② (左岸 13.0k)	2.8ha
	整備地③ (左岸 14.0k)	2.7ha
	整備地④ (左岸 14.5k)	4.8ha
合計※		46.3ha

小見川・高浜地区 整備地①(左岸 26k)

2023年10月撮影



小見川・高浜地区 整備地②(左岸 28k)

2023年10月撮影



東庄Ⅱ地区 整備地①(右岸 19.5k)

2023年10月撮影



東庄Ⅱ地区 整備地②(右岸 22.5k)

2023年10月撮影



東庄Ⅰ地区 整備地①(右岸 16.5k)

東庄Ⅰ地区 整備地②(右岸 17.0k)

東庄Ⅰ地区 整備地③④(右岸 17.5k)

2023年10月撮影

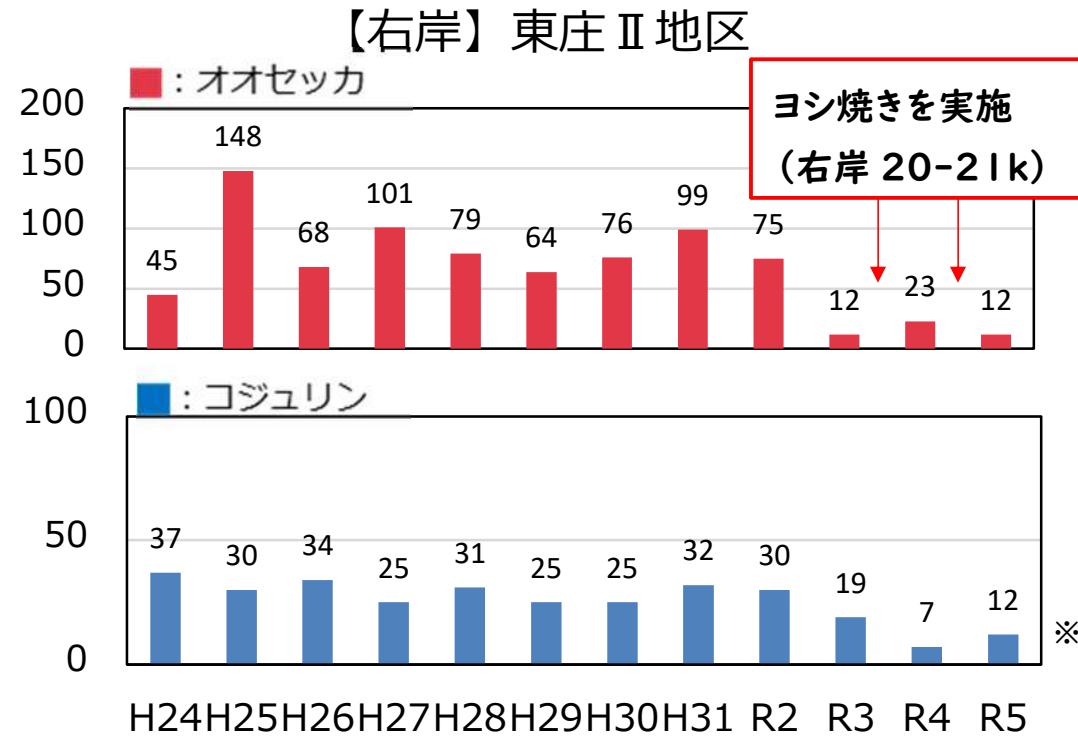
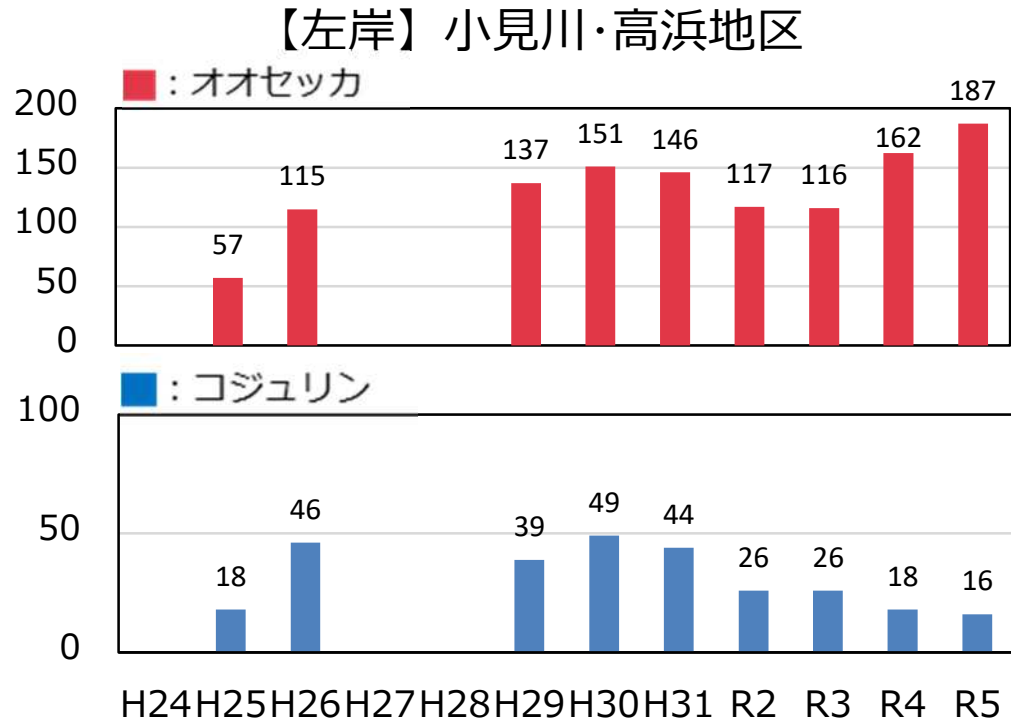


※現在施工中の船木・椎柴地区を除いた合計値

# オオセッカ・コジュリン確認数の推移

近年、東庄Ⅱ地区のオオセッカ、小見川・高浜地区と東庄Ⅱ地区のコジュリンは、確認個体数が減少傾向となっている。

⇒特に減少傾向が明瞭な東庄Ⅱ地区にて、オオセッカ等の生息環境改善のため、ヨシ焼きを実施。



※繁殖時期に3回調査を実施⇒3回のうち最大値を使用

ヨシ焼きを実施したことにより、オオセッカ・コジュリンのなわばり数は回復傾向。⇒繁殖環境が改善されてきている。

